

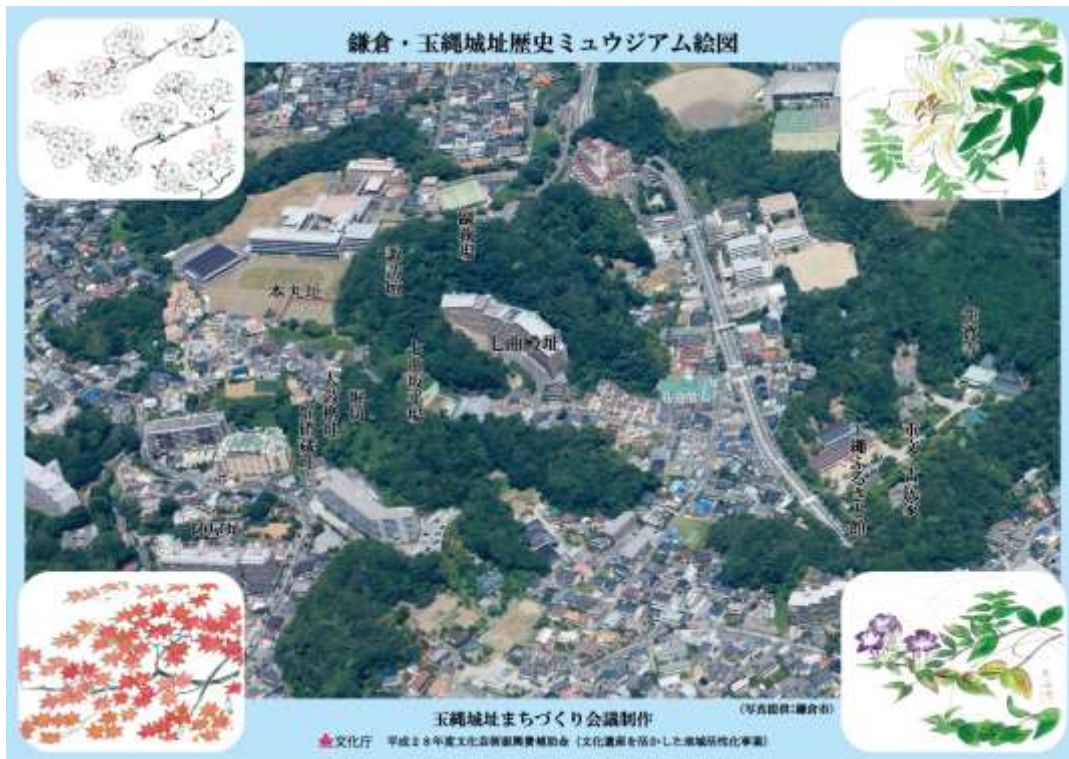
# 玉繩城まちだより

発行者:玉繩城址まちづくり会議 荒井 章 ☎ 0467-45-7411 〒247-0073 鎌倉市植木 425-16

E-mail artbank21@nifty.com URL http://tamanawajo.sakura.ne.jp/

## 玉繩城址を歴史ミュージアムに

### 遺構の学術調査を中心に進む



#### ◆歴史ミュージアム絵図披露

北条早雲が一五二二年に築城した玉繩城。その歴史を伝える玉繩城址まちづくり会議は、玉繩城の遺構などを示す歴史ミュージアム絵図を作成、七月七日に、松尾市長と絵を描いた日本画家、大竹五洋さんを招き、玉繩ふるさと館で披露しました。

#### ◆新会則に明記

団体設立十周年、当会は活動理念を整備、会則を改定しました。その第二条(目的)には「鎌倉・玉繩城の歴史を再発見し、その歴史的自然環境を整備保全し、玉繩城址歴史ミュージアムを構築するとともに、これらを活用して鎌倉・玉繩城地域の新たな歴史まちづくりを、行政と協働して推進する」と明言し、事業としては「市民に伝え、次世代に繋ぐ」体験教育への貢献をうたっています。

#### ◆文化庁補助金事業

「文化芸術振興費補助金事業」玉繩城址遺構群の学術調査を進め、この成果を十月の「歴史シンポジウム 甦れ!玉繩城七つの謎を解く」で発表。パネル展、冊子でも公開します。市民学芸員養成キュレーター講座に続き、ヘリ

テージマネージャー育成講座を開設します。

#### ◆市との協働事業

戦国時代鎌倉の歴史遺産デジタルアーカイブ事業を市と協働で進めています。玉繩地域の埋蔵文化財の発掘報告資料や様々な古文書もデジタル化して次世代に残します。

#### ◆中長期構想を描く

三年単位で構築していく歴史ミュージアム。玉繩城址の史跡指定、大船駅から続く歴史トレイルの整備。シンボルでは城址土塀、櫓のミニチュア模型制作。また玉繩城址の蹴鞠場復元、城址の石碑制作の構想があり、さらに長期的には、玉繩城下まち構想などもわれわれの視界に入っています。

#### ◆祭りの計画

十月二十九日は玉繩城主墓前祭(法要会と奉納古武道演武)、二〇一九年は北条早雲五〇〇年遠忌。先々の祭りの計画も多彩です。

#### ◆瑞氣集門

故田中八郎副会長の書にある言葉掲げ、当会は前進してまいります。(会長 荒井章)







《玉縄城址の史跡指定は市民60年の願いです》

5月、神奈川県教育委員会文化遺産チーム、鎌倉市文化財課が合同で下調べのため玉縄城址を来訪されました。私たちが整備している城址遺構群に一行をご案内。清泉女学院から入城し諏訪壇、三角平場、蹴鞠場、月見堂下曲輪、大手門、太鼓櫓、焰硝蔵を視察しました。蹴鞠場のスケール、焰硝蔵の堀切、七曲坂平場と真上の城址三角平場（矢射ち場）の立体遺構に関心が集まりました。昭和30年代に遡る史跡指定の構想は、漸く実施計画に移行されようとしています。



清泉女学院表門付近から城址を見る



蹴鞠場の遺構を確かめる



残っている土塁、堀切のスケール



諏訪壇の中心、ここに諏訪神社があった



当会が整備中の焰硝蔵址



七曲り古道に続く堀切の眺め



焰硝蔵竹林の作業路づくり



市民緑地の花々も目を和ませる



真夏の市民緑地整備作業を終えて



七曲坂アダプト、草刈、蔓草除去



城址斜面に植栽した落葉樹が急成長



炎天下に支柱立て作業を実施



太鼓櫓址 七曲坂下四代城主氏繁夫人の七曲殿址に、大型解説版を設置



玉縄城大手門、今は清泉女学院裏門



第十回 定時総会

◆四月十六日(土) 十三時半  
玉繩学習センター第二集會室



荒井会長の挨拶

平成二十七年事業報告、決算報告  
平成二十八年事業計画、予算案の承認を受けた  
新役員一覧  
会長・荒井章

副会長・正木重郎 熊代徳彦  
理事・荒井幸子 増川勇次郎

松田明 大竹正芳 加藤明彦  
荒木俊彦 森靖子 寺口順子  
横内宏明 山本日出子

監事・梅田良光 渋木嘉孝  
顧問・中村省司 兵藤芳朗 伊藤一美



熊代副会長の閉会挨拶

小田原北条五代祭り参加

鎌倉市代表として五月三日、北条早雲の次男、初代玉繩城主北条左馬之助氏時隊としてパレードした



颯爽と行進する玉繩城氏時隊

重文古民家落語会(七月十八日)

立川志の春 独演会

八十人の笑いが古民家に溢れた



談志師匠、志の輔師匠の話を枕に

【イベント予告】

重文古民家 秋のコンサート

《ギターと歌曲のひとつとき》

九月二十五日(日) 十四時〜十六時

ギター・宇賀神昭 歌・小松原利枝

歌曲・初恋 荒城の月 私のお父さん

ギター演奏曲・スペインセレナーデ

アルハンブラ宮殿の思い出

入場料：二〇〇円 先着六十人

………

第四回 玉繩城主墓前祭

十月二十九日(土) 十時〜十一時

龍寶寺 法要会と奉納古武道演武

………

玉繩城址遺構群の学術調査報告会

十月二十九日(土) 十三時〜十五時

シンポジウム

文化庁 題！玉繩城七つの謎を解く

場所：龍寶寺 国重要文化財旧石井邸

講師：伊藤一美・玉林美男・大竹正芳

料金：一五〇〇円 先着六十人

頒布：玉繩城址遺構群の資料集

………

☆玉繩城遺構群パネル展の開催

十一月〜三月 玉繩歴史民俗資料館

玉繩学習センター郷土資料コーナー

に展示します

【七曲坂の野草】⑩カラスウリ

夏の夜にしか咲かない、殆どの方が見たことがないと思います。星形の白い花がレースに覆われているようで(直径6cm)、闇夜に咲く白い花が幻想的でした。烏瓜、カラスが食べるからではなく、唐朱瓜が語源だそうです。白い花は、受粉に必要な蛾の目印になります  
(増川勇次郎)



里山ボランティア活動日

◆植木一号市民緑地「太鼓櫓址」

第二土曜日 九時〜十一時

◆「七曲坂」アダプトと周辺整備

第四土曜日 九時〜十一時

【事務局からお願い】

当会では楽しみながら汗をかき仲間を募集しています。歴史や自然など、好きなこと得意なことを、都合のいいときにチャレンジしませんか (横内宏明)  
☎45・7411、メール・HPでお問合せください。